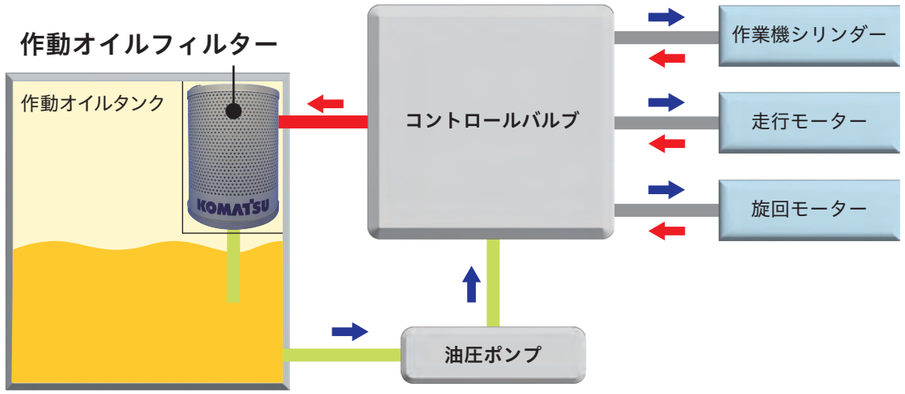
作動オイルフィルターエレメント

作動オイルフィルターエレメントとは

建設機械は、油圧の力で作業機を動かしています。この力を伝える作動オイルが汚れると、機械の動きが悪くなったり故障する原因になります。そこでフィルターで作動オイルをきれいに保つことが大切です。作動オイルフィルターは作業機から作動オイルタンクに戻ってくる作動オイルからごみを取り除いてタンクに戻す役割があります。



ナノファイバーの採用拡大

ナノファイバーが採用されている作動オイルフィルターエレメントは、PC200i-12とWA475-11を皮切りに順次採用拡大します。

●仕様は予告なく変更することがありますので予めご了承ください。
●本商品をご使用する際の注意事項詳細は、取扱説明書をご覧ください。

KOMATSU

http://www.komatsu.jp/ja

(2601)SK

KOMATSU
Genuine Parts

コマツ純正フィルター



Hydraulic filter element

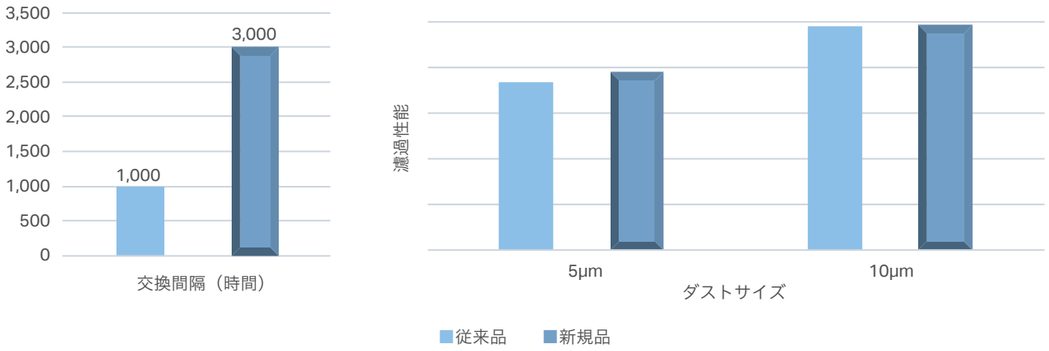
作動オイルフィルターエレメント

ナノファイバーを採用

長寿命かつ高性能のフィルターで LCC（ライフサイクルコスト）を低減

長寿命かつ高性能の新しい作動オイルフィルター

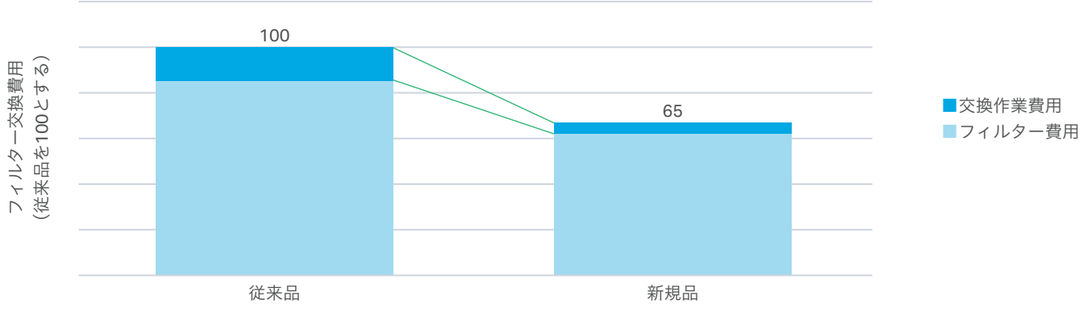
新しい作動オイルフィルターは、従来品に対して交換間隔が3倍になっています。これは、濾材の繊維が従来品に対してより細くなったことにより、細い繊維と繊維の間にある小さい隙間でより多くのダストをフィルター内に溜めこめるようになったためです。
一方で濾過性能は従来品と同等以上になっており、油圧回路の故障を引き起こすダストを高い効率でキャッチします。



なお、ナノファイバーを採用した作動オイルフィルターは、ナノファイバー向けに設計された油圧システムを必要とするため、従来品が使われている油圧システムへの取付互換性はありません。

LCC（ライフサイクルコスト）低減に貢献

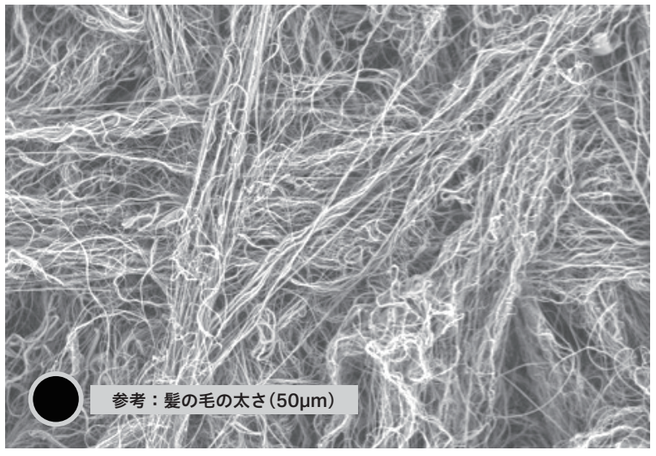
ナノファイバーを採用した作動オイルフィルターは、寿命が従来のフィルターの３倍になっています。これによりフィルター交換にかかるメンテナンスコストを約３割削減できます。長寿命のフィルターは、交換の手間を減らし、廃棄物の量も抑えられます。
長期間にわたり濾過性能が低下しにくいため、油圧機器の信頼性が向上し、トラブルを防ぎやすくなります。これにより、ダウンタイムを最小限に抑えることができます。



ナノファイバー

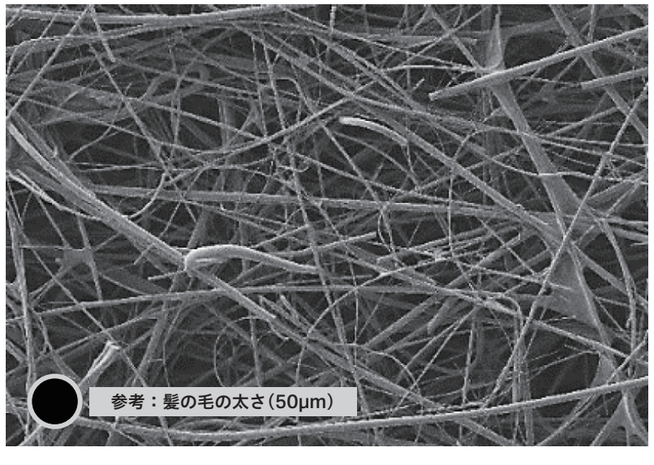
直径150ナノメートル*から10マイクロメートル*の非常に細い繊維であるナノファイバーを作動オイルフィルターの濾材に採用しました。このナノファイバーは従来品のガラスファイバーと比較して繊維が細いため、より多くのダストをキャッチして隙間に溜めこめます。そのためフィルターの寿命が従来品より長くなりました。また圧力損失（オイルがフィルターを通るときの抵抗）を抑えられるため、オイルの流れを妨げず、機械の作動効率を保ちます。

*ナノメートル（nm）：10億分の1メートル
マイクロメートル（μm）：100万分の1メートル



新規品：ナノファイバー

ナノファイバーは、ガラスファイバーと比較して繊維が細いため、より多くのダストをキャッチできます。



従来品：ガラスファイバー

ガラスファイバーは、ナノファイバーと比較すると繊維が直線的で繊維間の隙間が大きいため、ダストをキャッチできる量が劣っています。